

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月17日		記入者		連絡先 2699
部 名	保健福祉部	課 名	こども施設課	課長名	甘利 昇
事務事業名	児童厚生施設維持管理費				
予算上の事務事業名	児童厚生施設維持管理費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	13120	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第3章 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます				
基本施策名	第1節 子育て環境づくりの推進				事業開始年度
施 策 名	第2施策 子育て支援の充実				平成17年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	児童福祉法、相模原市立児童館条例、相模原市立児童クラブ条例、相模原市立こどもセンター条例、相模原市立児童遊園要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	維持・管理・補修				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象 (誰、何)
平成17年度より事業化したもので、児童厚生施設(児童館、児童クラブ、こどもセンター、児童遊園)の遊具や施設の小破修繕を行い、施設の維持・児童の安全の確保等を目的に実施する。					児童厚生施設利用者
(3) 平成17年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
児童館・児童クラブ・こどもセンター：6月に指導員への施設修繕要望調査及び現地確認を行い、必要箇所の修繕の実施 児童遊園：業者委託による遊具点検を行い、危険箇所等の修繕の実施 その他、各施設とも修繕の必要が生じた時に対応					
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	0	0	9,800	10,000	10,000
一般財源	0	0	9,800	10,000	10,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	394	275	275
事業コスト合計	0	0	10,194	10,275	10,275
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	児童厚生施設施設修繕			対象名称 と単位	修繕回数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	10,194	10,275	10,275
対象数	0	0	165	170	175
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	61,782	60,441	58,714
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.98	0.97

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	施設修繕回数	指標式と指標の説明	1年間の施設修繕回数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	0.0	0.0	165.0		
目標	0.0	0.0	165.0	170.0	175.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	児童館・こどもセンター利用者数	指標式と指標の説明	1年間の児童館・こどもセンター利用者数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	1003074.0	1062760.0	1033818.0		
目標	1003074.0	1013104.0	1023235.0	1033467.0	1043801.0
目標達成度（%）	100.0	104.9	101.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		児童厚生施設の利用にあつて安全・安心の整備は最重点である。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
小破修繕や危険性回避の為の応急手当等を実施する職員配置。			老朽化した施設の整備充実や遊具等の安全点検など事前対策が必要である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			